

【2021.11.2 発信 VOL.54】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.54 は、以下の内容でお届けします。

- 衆議院総選挙の結果を踏まえて
 - 宮崎雅夫参議院議員が農林水産大臣政務官に就任
 - 米政策のこれから
 - 全国土地改良大会群馬大会について
 - 財政制度等審議会の開催について
 - 新しい資本主義実現会議の開催について
 - 活動状況（2021.10.1～2021.10.31）
-

- 衆議院総選挙の結果を踏まえて
参議院議員の進藤金日子です。

- ・ 11 月に入りました、ひと雨毎に秋が深まってきました。地域によっては、秋が短く夏からいきなり冬に入ったところもあるようです。新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきましたが、このまま終息するよう皆で一致協力して感染対策に取り組んでまいりましょう。
- ・ 第 49 回衆議院総選挙が終わりました。自民党と公明党の連立政権が国民の皆様のご信任を得ることができました。しかし、自民党は議席を減らしました。私も臨時国会が閉会した 10 月 14 日から 30 日まで、全国を駆け巡り自民党公認候補の支援を行いました。政治に対する多くの声をお聴きしました。私自身、こうした声を真摯に受け止めるとともに今回の選挙結果を踏まえ、来夏の改選に向けて国家、国民のため、農林水産業と農山漁村の振興のために全力を尽くしてまいる覚悟を新たにしましたところ です。

- 宮崎雅夫参議院議員が農林水産大臣政務官に就任

- ・ 岸田文雄内閣において、私の同志の宮崎雅夫参議院議員が農林水産大臣政務官に就任しました。日頃からの皆様のご支援とご指導の賜物です。私から祝福とともに皆様に心から御礼申し上げます。
- ・ 宮崎雅夫政務官の益々のご活躍を期待いたします。

- 米政策のこれから

- ・ コメの消費は、食生活の変化や人口の減少、さらにはコロナ禍による外食産業等への影響により激減しており、主食用米の供給と在庫が過剰となって生

産者米価が大幅に下落しています。

- ・自民党農林合同会議において、米の需要減少対策を以下のとおり取りまとめました。

①保管に係る「特別枠」設定による事実上の隔離対策を実施

コロナ禍による需要減に相当する量として最大 15 万トンを「特別枠」として市場から実質的に隔離する対策を行います。この「特別枠」については、長期間にわたり（期限を設定しないで）国が保管料等（金利、倉敷、集約経費）を全額支援するとともに、販売支援（物財費）として中食・外食等向けは国が 1/2、子ども食堂やフードバンク向けには国が全額支援します。また、「特別枠」以外の「米国周年供給・需要拡大支援事業」（*1）の国の保管料支援を従来の 1/2 から 3/4 に拡充し、農家負担を軽減します。

（*1）「米国周年供給・需要拡大支援事業」とは、長期計画的な販売に対して保管料等の

1/2 を国が支援する既存の制度です。

②水田活用の直接支払金の十分な確保

上記①とセットで次期作に向けて「水田活用の直接支払交付金」（水田での麦、大豆、飼料用米、WCS 等の作付けを支援する交付金）をしっかりと確保することとしています。

私からは、今回の「特別枠」導入と一体に「水田活用の直接支払交付金」の予算を十分に確保することをセットで示すことを意見として強く申し上げました。

③当面の農家の資金不足に対して無利子資金を措置

米価下落による所得の減少に対して、ナラシや収入保険の支払までの間に農林漁業セーフティネット資金等を無利子で利用いただけるように措置しています（既に利用可能）。

- ・米の消費の減少が続くと作付面積の減少、さらには水田の荒廃につながり、食料安全保障上重大な支障となると同時に、水田が持つ防災や国土保全機能等の多面的機能の発揮にも影響を及ぼします。
- ・私は、「水田活用の直接交付金」は、米の需給緩和対策という側面が強調されますが、我が国の食料自給率向上対策（自給率の低い麦、大豆、飼料等を国産に切り替える対策）であり、水田の持つ多面的機能を維持することと併せて、強力な食料安全保障対策であり国土保全対策であると力説しています。私は、こうした事実に基づき「水田活用の直接交付金」制度の政策的な位置付けを明らかにして、国民の皆様にも説明し理解を得るべきと主張しています。皆様も私の主張を是非ともご理解の上、ご支持いただきたいと思います。
- ・自民党では、過去の例に捉われることなく米の需要拡大に向けた抜本対策の検討を進めています。皆様からのご意見やご提案も宜しくお願い致します。

■ 全国土地改良大会群馬大会について

- ・第 43 回全国土地改良大会群馬大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で 1 年延期し、10 月 6 日に、群馬県高崎市の群馬会場と全国各地をオンラインで結んで開催されました。
- ・群馬大会は、「鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて」とのテーマの下で開催されました。二階俊博全土連会長の挨拶、農林水産大臣表彰等の贈呈、県立吾妻中央高校生による大会宣言がなされ、その後、次期開催県の沖縄県土地改良事業団体連合会に大会旗が引き継がれました。宮崎雅夫議員は祝辞を、私は講演を行いました。

※第 43 回全国土地改良大会群馬大会の状況を YouTube の視聴(11 月中)ができます。

<https://youtu.be/mR34Eog0NjE>

■ 財政制度等審議会の開催について

- ・財務省は、財政制度等審議会財政制度分科会を開催し、令和 4 年度予算編成に関する議論を本格的に始めました。今月下旬をめどに建議（意見書）として取りまとめ、年末の政府予算案に反映させる模様です。
- ・この内容に対して多くの意見をいただいています。皆様のご意見をお待ちしています。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(財務省ホームページ)。

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/index.html

■ 新しい資本主義実現会議の開催について

- ・10 月 26 日、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとした新しい資本主義を実現していくための「新しい資本主義実現会議」が開催されました。
- ・成長と分配の好循環のイメージのなかで、デジタル化による地方活性化として、農林水産業の成長産業化、成長分野の投資強化として、減災・防災、国土強靱化等が触れられております。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(内閣官房ホームページ)。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.html

■ 「建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」の策定について

- ・農林水産省は、「建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」を策定しました。
- ・基本方針では、建築物等における木材の利用の促進、脱炭素社会の実現に資すること等を目的として、方針が策定されております。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/211001.html>

■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

ます。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

- ・新型コロナウイルス感染症の収束が見え始めておりますが、これまでどおりの三密の回避、マスクの着用などの感染対策が引き続き必要です。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(国立感染症研究所ホームページ)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/>

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

(自由民主党ホームページ)

<https://www.jimin.jp/covid19/>

■ コロナ禍の中で抗原検査等を随時行い各種講演を慎重に実施

- ・10月6日、第43回全国土地改良大会群馬大会に、リモートでこの5年間の成果として、講演を行い、農業政策、地域政策、国土政策における課題を克服していく上で土地改良が積極的に役割を果たすべきことを強調させていただきました。
- ・10月25日、鴻巣市で「市町村長・水土里ネット理事長・市町村農政担当課長研修会」において、農政と地域政策の現状と方向性、土地改良予算の経緯と現状等について講演、意見交換を行いました。
- ・10月26日、北海道滝川市で「北空知土地改良区運営協議会」において、「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題して、農業を取り巻く状況、農業の現状・課題、農政の推進状況、新型コロナウイルス感染症の影響と対応状況、令和4年度土地改良予算概算要求のポイントについて講演を行いました。
- ・10月28日、山形市で「第40回山形県土地改良大会において、「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題し、ポストコロナを見据えて幅広い農政の課題を会場の皆様と共有して、今後の農政の方向を展望について、講演を行いました。

=====